

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	②	職員の配置数は適切であるか	6			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	4	・一軒家なので、難しいです。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者様からのアンケート調査を職員 1 人 1 人が理解して、今後活かせるように取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		5	設定していません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			『クラ・ゼミ』全体のアセスメントシートがあります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		平日は個別療育を中心に行い、休日や長期休暇は個別療育とイベント等を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3		前日や当日に職員同士で、申し送りや打ち合わせを行っているが、連絡帳も使いきめ細かい連絡をしています。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			支援が遅くなり次の日になることや連絡帳に記入することで、終わってしまうことがあるので、療育の空いた時間を利用して取り組んでいきます。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	⑫	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		担任指導員が会議に参加できないときは、他の職員が情報を聞いて会議に出席することもあります。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	3		・コロナのため難しい
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	・受け入れていない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			こども園等と連携を行っています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	2	まだ、高校生がいないので対応していません。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	イベントに参加する時もありましたが、コロナの影響でイベントに参加する機会がなくなっています。（落ち着いたら取り組みます。）
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		・前は動いていたが、今は動いていません。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			利用児の療育の日に、保護者様とお話をしたり、事業所内相談でご家庭のお話を聞くことがありますが、今後も継続して取り組みます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			事業所内相談等で指導員や児発管が、その都度対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		・コロナのために機会がありません。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			保護者様との話を日々行うようにしています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3		InstagramやTwitter、ブログ等を使い情報を、今後も継続して発信していきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	コロナの状況が落ち着いたら、イベント等を行って、地域と交流していきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			一ヶ月に1回のペースで訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			外部研修で講師の方に来ていただいて、研修機会を確保しています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に身体拘束についてお話をし、理解してもらい、行う場合は個別支援計画に記載することをその都度お話をします。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	3	・おやつを提供していません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2		今後も事業所内で研修を行います。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島 校

保護者等数（児童数） 32： 回収数： 22 割合： 70.4 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	8		・うちの子はうろうろするので難しいと思う。 ・利用者が増えて手狭になっている様ですね。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2		保育士や公認心理士、教員等を配置して、取り組んでいます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	10	8	・住宅を利用しているので、難しいと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	21	1		保護者様からのニーズをその都度聞きながら、個別支援計画を作成しています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	18	3	1	保護者様からの要望を聞き、その都度取り組んでいます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	14	・個別療育なので、当事業所に対して他者と交流することを目的としていない。
保護者への説明	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1		基本的な説明を行っていますが、今後も定期的に説明をしていきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21		1	療育が終わった時間を利用して、その都度保護者様とお話をする時間を取っています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	1	事業所内相談等の時間をその都度設定して、取り組んでいます。

明 等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	13	7	・コロナもあり最近はないと思う。・コロナが落ち着いたら、以前のようにママ会をしてほしい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5		利用児が療育を行う時間や事業所内相談等を利用して、保護者様の意見や考え方を聞き、療育に活かしています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21		1	月に10件ほど事業所内相談等を行っていますが、今後も継続して取り組んでいきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21		1	ツイッターやブログ、インスタグラム等を使ってより一層情報を発信していきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	1		個人情報については市役所の障害福祉課と話をするときなどに、保護者様と確認をしています。
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	5	1	周知・説明をしていますが、定期的に説明をしていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	2	2	毎月定期的実施していきます。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	3	1	今後も利用児が楽しみながら、療育できるように取り組んでいきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	19	3		個別療育を中心に満足していただけるように、今後も取り組んでいきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。